

ファッション産業のあゆみと未来 持続可能な業界への道標



日本アパレル・ファッション産業協会

副理事長 松尾 憲久

(マツオインターナショナル (株) 代表取締役社長)

2021/09/16

大量生産を可能にした技術革新

糸の改良

短繊維 → 長繊維
(Fiber) (Filament)

織・編段階における
生産性が飛躍的に向上

縫製の簡素化

ジャージポリウレタンの登場
→ パターンと縫製の簡素化


Tシャツの一般化により
縫製が大幅にカット

染色技術の革命

インクジェットプリンター

生地・製品段階での
多色プリントが容易に

大量消費を生み出した時代背景

- 
- オートクチュール → プレタポルテ → カジュアルファッション
 - 米国産業の中心が東海外から西海外へ（Steve JobsとTシャツ）
 - SPA型企業のスタート

1995年GAP Specialty store retailer of Private label Apparel

- 日本では定期借家法の制定と大規模小売店舗法の廃止



ファストファッションの登場

衣料品使い捨ての時代



児童労働問題



不買運動



バングラデシュ
ラナプラザビルの崩壊



Accord
Alliance



劣悪な労働環境



謝罪
改善のための
アクションプラン公表

ファッションロスについて

衣類廃棄量

2009年推計（独立行政法人 中小企業基盤整備機構調べ）

総出荷量 111万トン

総廃棄量 約94万トン

（内 一般家庭廃棄 86万トン 事業所廃棄 8万トン）

焼却処分 約65万トン

リサイクル・リユース 23.2万トン



2020年（2021年4月環境省調べ）

総出荷量 約81万トン

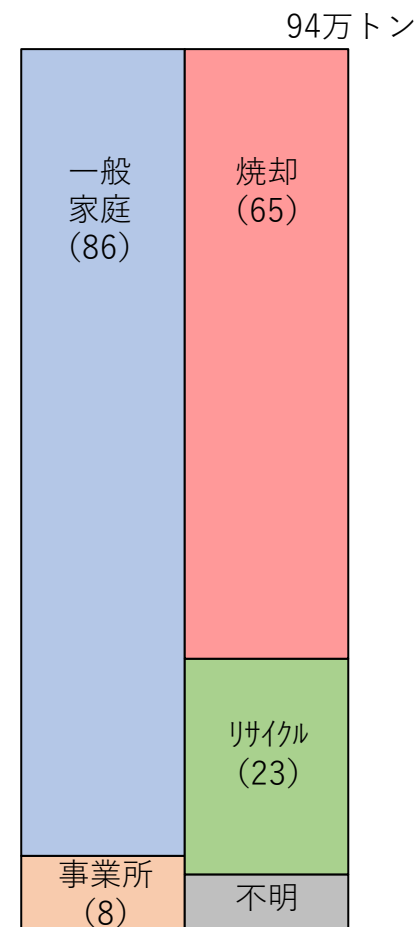
総廃棄量 約78万トン

（内 一般家庭廃棄 75万トン 事業所廃棄 3万トン）

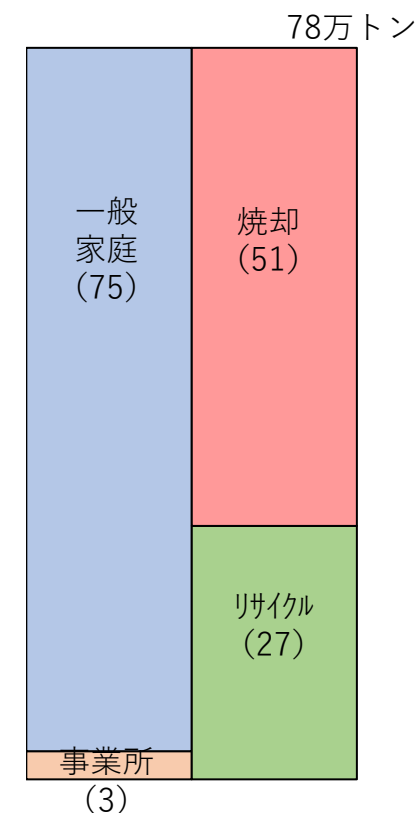
焼却処分 約51万トン

リサイクル・リユース 27.3万トン

2009年廃棄



2020年廃棄



※ 服3枚で1kgと仮定すると 1トンで3000枚 1万トンで3000万枚 80万トンで24億枚

※ 国民一人当たり約20枚の廃棄をしている

団体としての取り組み①

指摘されるサステナブル問題

- ・ **CO2排出量**
 - － 自動車産業について2位の排出
- ・ **土壌汚染**
 - － 綿花栽培における殺虫剤の使用
- ・ **水質汚染**
 - － 化繊衣料のマイクロプラスチック放出
- ・ **水の大量使用**
 - － 紡績、染色時に使用する大量の水資源
- ・ **廃棄**
 - － 約51万 t の衣料品が廃棄（CO2排出、土壌汚染）
- ・ **動物愛護**
 - － リアルファーの使用問題

サプライチェーンの管理は発注者の義務

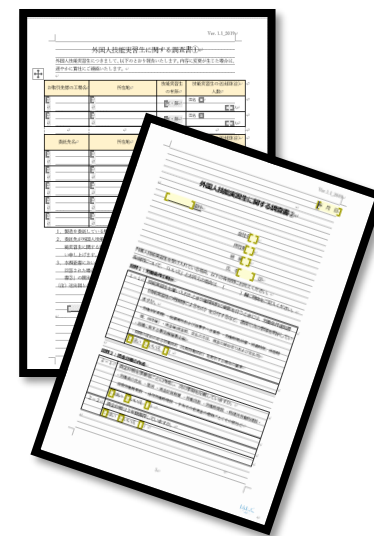


工場監査

外国人技能実習生調査書
の発行



会員企業への啓発



団体としての取り組み②

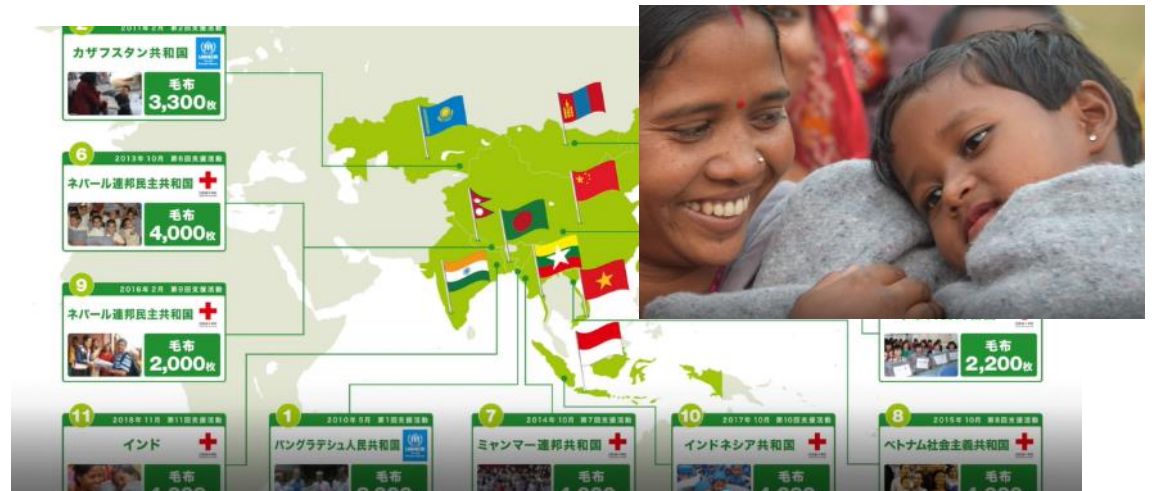
環境配慮型資材展の開催

アパレル整品には多くの
ワンウェイプラスチックが使われ
環境に負荷をかけている



会員企業の取り組み

(株) オンワードホールディングス




会員企業の取り組み

(株) イトキン



会員企業の取り組み

(株) アダストリア



START WITH JUST ONE SHIRT.

60% of the clothing produced every year ends up incinerated or in landfills within that same year. This includes unsold overstock from brands, never being used before disposal.


FROMSTOCK is an up-cycling brand giving clothes a second life. In the hopes of bringing new value to each piece, we dye everything black with a low-waste method.

Making a large change for the environment can start with just one shirt.

毎年、大量に生産される服の60%以上は、1年以内で焼却処分か、埋め立て処分される。新品のまま、廃棄される数量も少なくない。

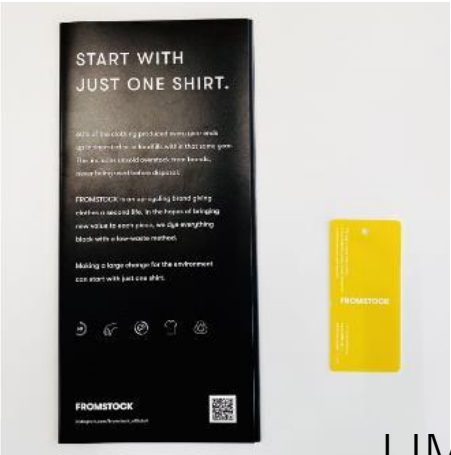
FROMSTOCKは、捨てられる運命にある「廃棄の服」を蘇らせる、アップサイティングブランド。「染染め」という最もロスが少ない方法で、キズや汚れも高めて、新たな価値に転換する。

地球環境という大きな物語も、あなたのたった一枚の選択から始まっていく。





P-Life



Recycle

日本環境設計株式会社



日本環境設計株式会社 JEPLAN, INC. HPより引用



わが社の取り組み Relocation

売れ残りを監視し再配分する

百貨店 消化委託へ



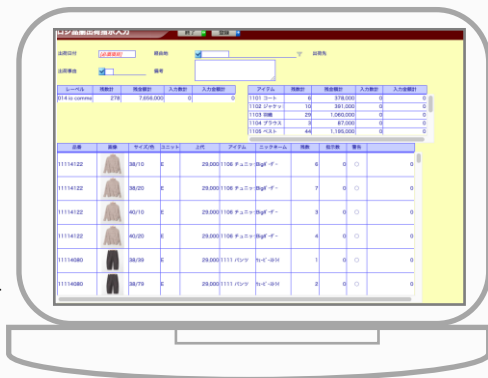
地方問屋 消化委託へ



専門店 消化委託へ



店頭在庫の見える化
(95%以上の自社在庫)



キャリー出荷画面

静脈物流

投入後の消化状況把握



Peer to Peerから
Hub & Spokeへ

静脈物流

RFIDの活用



PUSHからPULL型の品ぞろえ



(株) エフテクト HPより引用

EFTECT GATE

わが社の取り組み Reuse

お引き取りキャンペーン



染め変えサービス

例) 株式会社 京都紋付

KUROSOME REWEAR



(株) 京都紋付 HPより引用



Remake



再加工

Umeda.hankyu_Atelier Notify



わが社の取り組み Restore

百貨店・商業施設の空きスペース
×
自社・他社ブランド
×
レイオフされた販売スタッフ
×
Green化 Project
↓

LrdR New Normal



VOYAGES HOME



植栽レンタル



わが社の取り組み Resale

日本一のバツタ屋 shoichiとの取り組み

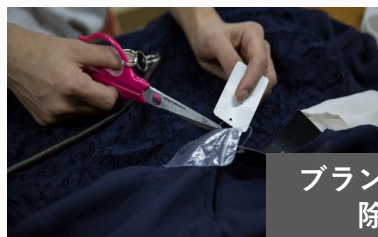


役割

業者からの買い取り
倉庫管理



倉庫



ブランドタグ
除却



仕分け・検品



消費者向けの品ぞろえ
売り場管理



わが社の取り組み Refashion

インフルエンサー

×

about her.

- 企画機能
- 縫製材料
- 撮影機能
- ネット対応
- 物流機能

売りながらつくり、つくりながら売る

インフルエンサー



about her.



Atelier Notify



望まれる法整備

ESG思考を市場経済に取り入れるための法整備

例) ポリエチレン袋の有料化 → 消費者意識の改革

- ・ 何に課税するか
- ・ どこから徴税するか
- ・ 誰を啓蒙するか

最終目的（KGI）と経過測定（KPI）の公表